平成17年度

国土交通先端技術フォーラムの開催

産学官の連携促進と成果の一層の活用を目指して

■主催:国土交通省 ■共催:九州大学

■後援:福岡県、福岡市、壯九州·山口経済連合会、福岡商工会議所、壯地盤工学会九州支部、

社日本船舶海洋工学会西部支部、九州ブロック地域科学技術振興協議会

日時 2006年 2月 20日月 講演 / 13:00~17:50

講演/13:00~17:50 展示/12:00~17:50 入場無料

会 場▶九州大学医学部百年講堂 百年講堂大ホール/福岡市東区

申込み 事前の申込みが必要になりますので、別紙の参加申込書により以下までご連絡下さい Eメール:forum17@shobix.co.jp FAX:03-5991-7237

【博多駅から】

■ 地 下 鉄:空港線「中洲川端駅」で箱崎線に乗り換え、

「馬出九大病院前駅」下車 徒歩8分

■ J R: 鹿児島本線 「吉塚駅」下車 徒歩15分 ■ 西鉄バス: 10系統 「九大病院」 下車 徒歩1分

または 9、18、29系統「県庁九大病院前」下車 徒歩5分



近年、環境問題の深刻化、少子高齢化、高度情報化等社会経済構造が大きく変革する中で、我が 国は「科学技術創造立国」の実現に向け、科学技術の振興に努めています。

国土交通省では従来から、真に国民の暮らしの向上につながる技術研究開発の重点的な推進に努めているところですが、その効果的な実施と成果の実用化のためには、産学官の緊密な連携関係を構築することにより幅広い知見の集束やニーズとシーズのマッチングを図り、迅速な産業化・事業化に結びつける取組みが必要であると考えております。そのため、平成15年度より、地方の産学の皆様と当省およびその関係研究機関が一堂に会する「国土交通省先端技術フォーラム」を開催し、国土交通省の先進的な研究開発成果や知的財産等の紹介を行うとともに、直接対話を行う機会を設けております。これを通じて、当省がこれまで取り組んできた技術研究開発とその成果をより一層で理解いただくとともに、産学の方々と当省の研究機関の連携が促進され、研究の成果が皆様方に広く活用されることを期待しております。

ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせのうえご来場賜り、忌憚のないご意見等いただきたくご案内申し上げます。



国土交通省 技術総括審議官 矢部 哲



国土交通先端技術フォーラムの開催

産学官の連携促進と成果の一層の活用を目指して

講演

13:00~ 17:50

【第1部】

- **開会の辞** 13:00 ~ 13:05 大臣官房 技術総括審議官 矢部 哲
- 基調講演 「国創りに結実する科学技術創造を目指して」―――13:05 ~ 13:45 総合科学技術会議議員 柘植 綾夫
- **国土交通省トピックス 「社会的技術と新たな社会基盤」** 13:45 ~ 14:05 大臣官房 技術審議官 中島 威夫
- 特別講演 「九州大学における産学連携の取組みについて」 14:05 ~ 14:35 九州大学知的財産本部長/理事・副学長 小寺山 亘

【第2部】-

■「防災・安全」に関する技術研究開発

 $-14:50 \sim 16:00$

- 「台風·集中豪雨の予測精度向上に関する技術開発」 気象研究所 予報研究部長 杉 正人
- 「豪雨・地震による土砂災害に対する危険度予測と被害軽減技術の開発に向けて」 (独)土木研究所 土砂管理研究グループ長 寺田 秀樹
- ●「ミリ波/赤外線による衝突防止技術に関する研究」(独)電子航法研究所 電子航法開発部上席研究員 山本 憲夫
- ●「九州大学における防災研究の取組みと産学官の連携事例」九州大学大学院工学研究院教授/西部地区自然災害資料センター長 善功企
- 質疑
- ■「基盤再生・革新」に関する技術研究開発

 $16:00 \sim 16:55$

- ●「ITSセカンドステージへ」 国土技術政策総合研究所 高度情報化研究センター長 山田 晴利
- ●「新たな地理情報インフラの展開」
 国土地理院 地理情報部長 稲葉 和雄
- ●「次世代内航船(スーパーエコシップ)の研究開発」(独)海上技術安全研究所 輸送高度化研究領域長 児玉 良明
- 質疑
- ■「環境」に関する技術研究開発

 $-16:55 \sim 17:50$

- ●「都市臨海部に干潟を取り戻すプロジェクト」 国土技術政策総合研究所 沿岸海洋研究部長 小松 明
- ●「ヒートアイランド対策」 (独)建築研究所 環境研究グループ長 大澤 元毅
- ●「次世代低公害車開発・実用化促進事業について」 (独)交通安全環境研究所 理事 野田 明
- ●質疑

展示

12:00~ 17:50

展示は講演の1時間前より開催しておりますので、お早めのご来場をお待ちしております。

【展示内容】

- ビデオ及びパネルによる研究成果の紹介、パンフレットの配布等
- 知的財産及び研究についての相談や説明

【展示機関】

九州大学、九州ブロック地域科学技術振興協議会、国土技術政策総合研究所、国土地理院、 気象研究所、海上保安庁海洋情報部、(独)土木研究所、(独)建築研究所、

- (独)交通安全環境研究所、(独)海上技術安全研究所、(独)港湾空港技術研究所、
- (独)電子航法研究所、(独)北海道開発土木研究所、(独)鉄道建設·運輸施設整備支援機構